

29年度 第2回 運営推進会議 議事録

日時：平成30年 3月8日（木） 10：30～12：10

場所：ふきのとう みんなの家 ぱお

出席者：利用者ご家族 2名・地域住民代表の方 2名・知見を有する方 1名（薬剤師）
・高齢者支援課 1名・事業所職員 3名 計9名

内容：（配布資料に従って）

①現在の利用者状況と職員の状況（平成30年3月1日現在）

◎登録利用者数・介護度・利用日数・1日の平均利用人数報告

◎スタッフ（職員）、ボランティアスタッフの状況

・男性スタッフの役割は大きい。仲間を増やし、定職率を上げていきたい。

②半年間の活動報告 主な行事と職員の研修等の状況報告

・＜非常食備蓄について＞

Q：（地域の方代表）期限切れにならないように普段から非常食を使いまわすようにしたらいいのでは

A：（職員）デイサービスなので災害時基本的にお宅にお送りするという考えで、今回の買い替えを機に非常食の備蓄量を少なくしました。期限が切れてしまう前に処分する日を設けるなどして早めの対応をします。

主なヒヤリハットと事故0件の報告

・（職員）：配布資料に書いたのは、一つの事例ですが他にも体操準備でソファを下げるため立っていた方がふらつき、前に手を付き崩れるようになったことから、テーブルに手を付いて待っていただくようにした件。午後1番目の入浴の方の湯温が保温が切れて低くなっていたため寒い思いをさせたことがあり、ご本人とご家族に説明とお詫びをし、自動（保温）の持続時間の設定を2時間に直した件などがありました。普段精一杯やっても、一回の失敗が家族の信用を失うことにもなりかねないので気をつけていきます。

・＜入浴の件について＞

（利用者ご家族）：最初の頃はお風呂に浸かる時間（～5分）が「短い」「ぬるい」等言っていたが、最近は言わなくなった。慣れてきたのでしょうか。デイで入るようになってから自宅では入らなくなりました。

（利用者ご家族）：思ったことをストレートに言わないところがある。また、忘れたことを隠そうとしたり繕おうとする。家族は気を遣わなければならないので、本音を素直に伝えて欲しいところだが…

（職員）：皆さん私たちが思っている以上に気遣いや気兼ねがあるように感じる。人その方によって表れ方は様々だが繕ったり、隠したり、人のせいにしたりは日常でもよくあることです。

③利用者アンケートの結果報告

④その他報告事項と今後の課題

報告・来所者カードを作りました。地域に開かれた場所として喫茶タイムを設けたり、いつでも寄って

いただける場所としては変わらないが、ご利用者を訪ねて訪問者があった場合、ご利用者は覚えていなくても上手に話を合わせてしまう時があり、ご利用者の安全とご家族への報告のためご利用者への訪問があった場合に記入していただくようにしています。

- テントが降雪の翌日傾き、補修しました。
- サービス提供体制強化加算の請求について。未請求だった期間があり過誤請求をしています。

今後の課題

- 常勤スタッフの募集とスタッフの定着 （継続）
- 地域との関わり 寺子屋継続と地域の中での役割模索 （継続）
- 認知症の方への対応 （継続）

⑤質疑応答・評価・感想

（地域の方代表）：いつも事業所のことを気にかけています。お手伝いできることがあればと思っています。

（知見を有する者）：デイサービス等の介護サービスを「利用するのがまだ早い」と戸惑う方がいるという話が出たが、もう少し軽く利用できるような、世間的に垣根がなくなって気軽に皆さんが利用できるようになったらいいなと思います。

（高齢者支援課の方）初めて来たがいい意味でオープンな場所だと感じた。これからも連携を深めていきたい。